

報道関係者 各位

平成 28 年 3 月 28 日

【照会先】

職業能力開発局 能力開発課

課長 波積 大樹

主任職業能力開発指導官 下角 圭司

課長補佐 西方 雅一

(代表電話) 03(5253)1111 (内線 5962)

(直通電話) 03(3595)3406

(独) 高齢・障害・求職者雇用支援機構

雇用開発推進部長 田中 歩

雇用推進課長 小林 祐之

(直通電話) 043(297)9516

## 第 9 回 国際アビリンピック（フランス・ボルドー大会）での 日本選手団の成績を公表します

～ 日本選手団は 2 種目で金賞を獲得～

第 9 回 国際アビリンピック（9th International Abilympics、主催：Abilympics France）が、3 月 23 日（水）から 3 日間、フランス・ボルドーで開催されました。日本選手は 2 種目で金賞を獲得しました。

今回の大会では、日本を含めた 35 カ国・地域の 511 名の選手が参加して 48 の種目で競技が行われました。

日本選手は、17 の種目の競技に参加し、「義肢製作」、「歯科技工」の 2 種目で金賞を獲得し、銀賞 3 個、銅賞 5、特別賞 1 個の成績を収めました（別紙参照）。

なお、日本選手団は、3 月 29 日（火）日午後 3 時頃の便で、帰国する予定です。

※特別賞は、各選手団の中で最高得点を獲得した選手に授与される。種目によって点数の水準は異なるため、必ずしも金賞受賞が特別賞を受賞するわけではない。

### アビリンピック（ABILYMPICS）とは

「アビリティ（ABILITY「能力」）」と「オリンピック（OLYMPICS）」を合わせた造語です。障害がある人々の職業能力の向上を図るとともに、企業や一般の人々に障害者への理解と認識を深めてもらい、その雇用の促進を図ることを目的として開催しています。

### 国際アビリンピックとは

第 1 回 国際アビリンピックは、国連で定めた「国際障害者年」である 1981 年（昭和 56 年）に東京で開催されました。以降、おおむね 4 年ごとに世界各都市で開催され、日本は第 8 回大会までに 406 人の選手を派遣しています。

○別紙 1 第 9 回 国際アビリンピック入賞者一覧

○別紙 2 受賞者の喜びの声

## 第9回 国際アビリンピック フランス・ボルドーの大会風景



香川選手（義肢製作）【金賞】

人工の手・足等を作製

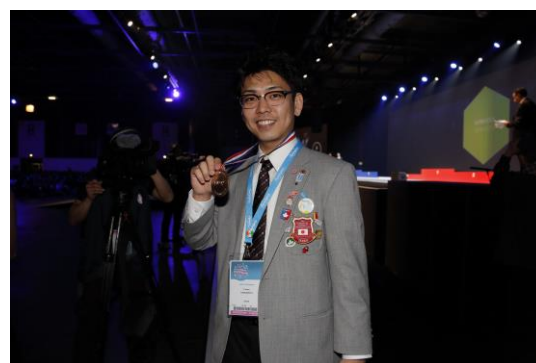


柳本選手（歯科技工）【金賞】

人工材料を使って義歯を作製



義肢製作種目で金賞を受賞して表彰される香川選手



歯科技工種目で金賞を受賞して表彰される柳本選手



大野選手（電子機器組立・テスト）【銀賞】

精密で質の高い電子回路の組み立て



亀山選手（英文ワープロ）【銀賞】

英文テキストの入力、編集等により課題文書を作成



藤農選手（データベース（応用））【銀賞】

Access を用いた顧客管理システムを作成